

海上保安学校船舶運航システム課程210名が卒業

令和2年9月26日（土）、京都府舞鶴市所在の海上保安学校において赤羽国土交通大臣・奥島長官列席のもと卒業式を挙行了しました。

式典においては徹底した新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、御家族・御来賓の参加を御遠慮頂き、式典の様子はインターネットによるライブ配信を行いました。

卒業生は1年間の厳しい訓練や学生生活を乗り越え、また、この春以降は新型コロナウイルスの影響により今までにない生活を余儀なくされましたが、晴れて卒業式を迎え、その日のうちに全国各地の現場向け旅立ちました。

卒業生に対し、赤羽国土交通大臣から「これから皆さんが活躍する海は、古来より、多くの恩恵を授け、国家繁栄の要として我々を見守ってくれております。ただ今より、皆さんは、見守られる立場から、守る側に立ち、この「平和で豊かな海」を次世代に継承していくという尊い使命を担うこととなります。」との激励を頂き、奥島長官から「現場においては困難な状況に直面することもあるでしょう。そのときは、この海上保安学校で身につけた基本を思い起こし、冷静・沈着に同僚たちと一致団結して乗り越えてほしいと思います。」と鼓舞されました。

＜卒業生の内訳＞

海上保安学校	船舶運航システム課程 第56期	210名	(21名)
	航海コース	104名	(10名)
	機関コース	70名	(4名)
	主計コース	36名	(7名)

※括弧内の人数は女性人数（内数）



